NOTE Cubase 11 の起動中にASIOドライバー選択ダ イアログが表示された場合は、使用するAAICIOFみババ を選択状でQIOKをウツタじてぐだださいままははいいたた たキンセルして先先進海み**スタジブ発電**ダダアログがあ あためめASIOIOゼラババを選択択してかかままません。





## バッファーサイズを設定する

オーディオシステムの下に表示されるASIOド ライバー名❶をクリックして選択すると、画面の 表示がSTEP2の状態から右の画面例へと切り 替わります。

コントロールパネル②をクリックすると、製 品によってデザインなどは異なりますが、その ASIOドライバーに適合したオーディオインター フェイスのコントロールパネル⑧が開きます。

マイクやギター、外部MIDI音源の演奏をオー ディオレコーディングする際に、モニター音が遅 れて聞こえる現象 (レイテンシー) を極力小さく するためには、バッファーサイズを小さく設定す ることが重要です。ここで例としている機種 (St einberg UR-RT4) の場合は、コントロールパ ネルのASIOタブにあるBuffer Size4を、より Sample数の小さいものに設定することで、バッ ファーサイズを小さくすることができます。

NOTE コントロールパネルでの設定項目はオーディオ インターフェイスの機種によってそれぞれ異なりますの で、詳しくは製品付属のマニュアルを参照してください。

コントロールパネルを閉じ、Cubase 11 のス タジオ設定ダイアログを見ると、入力のレイテ ンシーおよび出力のレイテンシーの数値が小さ くなっていることがわかります(5)。

なお、PCの処理能力を超えるほどバッファー サイズを小さくした場合、音が途切れる症状が 発生します。この場合はサイズを再調整してく ださい。





